

玉野市立玉中学校

・生徒数 181名 ・学級数 8学級 ・教職員数 24名 (平成27年度1月16日現在)

○取組実践のキーワード

学習習慣の確立 学習意欲の向上

○標題（研究主題）

小中連携による家庭学習の定着に重点を置いた取組

○取組を始めた経緯

学区共通の課題として、基礎学力や家庭学習の習慣が定着しておらず学力保障しなければならない児童生徒、自ら学ぼうとする意欲が低い児童生徒も少なくない。

学区全体の学力や生徒の授業への意欲の向上には、基礎学力の定着とともに家庭学習の習慣付けが不可欠と考え、取組を始めた。

○取組の実施体制

本校の研修組織の4部会（授業力向上部会・学習習慣向上部会・授業外の学習支援部会・人間関係づくり部会）のうち、学習習慣向上部会が主となって、「週課題一覧表」の印刷をし配付を行っている。また、授業外の学習支援部会と連携を取りながら、学年補充学習やボランティア補充学習などで課題の提出の支援や学力の定着を図っている。また、小中連携を推進する中で「家庭学習強化週間」を設定して取り組んでいる。

○学力向上に向けた具体的な取組

3年前から「家庭学習強化週間」を設け取り組んでいたが、何時間学習したかを記録するに留まっていた。ところが、掲示した課題一覧表を見る生徒と意欲の少ない生徒の取組の差が大きく現れることとなり、生徒全員に「週課題一覧表」を配付するようにした。また、「週末課題」では、土日の勉強時間が増えるだけなので、「週課題」と名称を変え、月曜に配付し、次週の月、火の授業で課題を回収することとした。教科担任と連携をとり、生徒本人や担任が提出状況を把握できるように結果を貼り出すようにした。毎週水曜日は部活動がないので、未提出者は放課後補充学習として、学年教員の指導の下、未提出の課題に取り組んでいる。回数を重ねるうちに、提出がパーフェクトになる生徒の数が増え、学習習慣が定着してきた手応えを感じている。

また、ボランティア補充学習として、地域の学習ボランティアの方による補充学習に希望者を募り、月に一度、水曜日の放課後に取り組んでいる。

加えて、中学校がテスト前の部活動停止となる一週間は、学区の二つの小学校も中学校に合わせて「家庭学習強化週間」として位置付けており、家庭での兄弟姉妹が一緒に勉強する環境づくりに取り組んでいる。

また、各小学校へ本校1年生が訪問し、「先輩の話聞く会」と題して、6年生を対象に中学校生活についてのプレゼンを行い、その中で授業のことや家庭学習の大切さを説明するようにしている。中1ギャップの解消と入学前からの学習意欲の向上を目指している。